

令和2年度第1回新潟市新津鉄道資料館運営協議会会議録

日時： 令和2年11月9日（月） 11:00～12:20

会場： 新潟市秋葉区新津地域学園 304 研修室

参加者： 新津鉄道資料館運営協議会 金山委員、野本委員、樋浦委員、
奥原委員、澤野委員、安藤委員
歴史文化課 遠藤課長
新津鉄道資料館事務局 高山館長、加藤副館長、岩野学芸員
(以上10名)

傍聴人：0人

資料配付：新津鉄道資料館運営協議会次第及び別紙1～7

報告および意見聴取

- 1) 令和元年度入館者数実績報告
- 2) 令和元年度各種事業報告
- 3) 令和元年度集計結果報告
- 4) 令和2年度事業計画について
- 5) その他

内容

■ 高山館長

おはようございます。ただ今から新潟市新津鉄道資料館運営協議会を始めさせていただきます。はじめに、歴史文化課の遠藤課長がご挨拶申し上げます。

■ 遠藤課長

皆様おはようございます。本日はお忙しい中、新潟市新津鉄道資料館運営協議会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。

私、この4月に歴史文化課にまいりました遠藤と申します。

新潟市の歴史文化課は大きく6つの分野の業務で行っております。①博物館の登録に関する事務 ②歴史文化施設に関する施策の企画・調整・整理 ③文化財に関する仕事 ④埋蔵文化財に関する仕事 ⑤歴史資料に関する仕事（市史編纂を含む） ⑥施設の管理です。現在、大きな事業として、長年の懸案事項であった文書館の来年の秋オープンを目指して作業しております。あわせて公文書管理条例制定の準備などの業務をおこなっております。

新津鉄道資料館に関しては、昭和58年に開館し、平成10年に現在位置へ移転、そして一番大きなトピックとして平成26年にリニューアルしました。本日お集まりの皆様をはじめ、とりわけ金山先生からは多大なるご指導をいただいたと伺っています。また、JR 東日本様、にいつ鉄道商店街様、商工会議所・観光協会の皆様そして鉄道愛好家の皆様など各方面と全国の鉄道資料館などと連携しての各種事業をやらせていただいています。このようなかたちで素晴らしい施設を運営させていただいており、毎年6万人以上の方々にお越しいただいている状況となっています。

新型コロナウイルス対策が全国的・世界的に大変なことになっていますが、新潟市におきましても2月29日に感染された方が出て、感染の報道が毎日繰り返されるなど大変な状況

になりました。市民の皆様から熱心に予防活動をやっていただいた結果、政令市のなかでは人口あたりの感染者の発生率は一番低い、また死亡者もゼロという状況でございます。

本日は、事務局からお話をさせていただきますが、このコロナ禍をふまえた対応をふくめて皆様からご忌憚のないご意見をいただければと思っております。短い時間ではありますが、よろしくお願いいたします。

■ 高山館長

申し遅れましたが、私、新潟市新津鉄道資料館の館長を仰せつかっております高山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは本日の運営協議会の日程ですが、次第に基づき進めさせていただきます。概ね正午ごろには終了とさせていただきますと存じます。

では、次第の2. 当運営協議会についてです。お手元に配布いたしました別紙1の名簿をご覧ください。今回、新たにお二人に委員をお願いしていることもありますので、順に自己紹介をお願いいたします。では、金山委員からどうぞ。

(金山委員、野本委員、樋浦委員、奥原委員、澤野委員、安藤委員の順に自己紹介)

ありがとうございました。では、事務局の自己紹介をさせていただきます。

(遠藤課長、加藤副館長、岩野学芸員、高山館長の順に自己紹介)

それから別紙1の名簿・2番の南雲委員が、本日所用と重なってしまいご欠席とのご連絡をいただいています。また、みなさんによりしくお伝えくださいとお預かりしていましたのでご報告させていただきます。

続きまして、事務局の加藤から内容についてご説明いたします。

■ 加藤副館長

資料は別紙2-1をご覧ください。新潟市には、法律や条例に基づいて設置される附属機関と、市政運営に対する意見聴取等の場である懇話会とがあり、これらを合わせて「附属機関等」と呼びますが、当運営協議会は懇話会に分類されます。

当運営協議会は、新津鉄道資料館の運営や事業について、幅広い見識をお持ちのみなさんからご意見を述べていただく場となりますが、懇話会という位置付けであることから、運営協議会という組織体としての意思決定を行う機関ではないということをご理解ください。

なお、会議は原則として公開となります。また会議概要も公開となりますので、その点ご配慮をお願いいたします。

運営協議会の要綱につきましては、別紙2-1です。逐次の読み上げは省略させていただきます。裏面の別紙2-2は、委員の公募要領です。今まで、公募委員の選考は、運営協議会委員の中から選考委員3名を選び、その3名から公募委員を選んでいただいていた。今般、本市の他の附属機関や懇話会等での公募委員選考方法に倣い、新津鉄道資料館を所管する文化スポーツ部長、歴史文化課長そして運営協議会を代表して座長の3人で選考すると改正させていただきました。

それでは、別紙2-1 運営協議会の要綱のほうにお戻りください。

第5条をご覧ください。座長および座長代理を互選によって定めるとあります。新メンバ

一となりましたので、改めまして座長と座長代理をお決めいただきますようお願いいたします。

■ 高山館長

それでは、座長と座長代理の選出につきまして、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

■ 澤野委員

事務局一任

■ 高山館長

事務局一任との声がありました（ほかに意見無し）。では、事務局案として座長に金山委員を座長代理に野本委員をお願いしたいと存じます。（両委員承諾。その他異議無し）

それではこれからの進行は金山委員に座長をお願いいたします。

■ 金山座長

では、座長を仰せつかりました金山です。みなさんよろしくをお願いいたします。

私は東京から来ておりますが、新型コロナウイルスの影響で依然として緊迫した状況が続いています。他の博物館で聞いたのですが、都内のある館はバス団体客が皆無で例年の2割の来館者とのことでした。一方、隣県の博物館のお話では、お客さんがそこそに戻ってきているとのこと。こちらの資料館も、秋になってお客さんが増えているとのことで、都内ではお客様が減っているけれど、地方ではむしろ増えているところもあるようです。そんなことから、地域の人たちにとって博物館などが日常の生活に必要な存在になっているのだなと感じています。

さて、この運営協議会は、委員の皆さんには忌憚のない意見を自由に言っていただく場で、そうした伝統もありますので、それらを大事にしながら進めさせていただきたいと思います。

それでは事務局より、令和元年度の報告についてご説明願います。

■ 加藤副館長

それでは別紙3-1 令和元年度入館者数等報告書（年報）をご覧ください。あわせまして3-2は令和元年度月ごとの数字となっていますので、3-1とあわせてご覧ください。

3-1の1. 入館者数実績の表ですが、左側が令和元年度の数字、右隣りが平成30年度、さらにその右が比較数字です。下の2. 概況にまとめたように、令和元年度の入館者数は、対前年度比1,752人増の61,859人となり、前年度を上回ることができました。人数増の主な要因としては、E4系新幹線の運転席公開を全国に先駆けておこなったこと、それがゴールデンウィークの10連休と重なったこと、その後もサンクスフェアを含めた実車公開が人気であったことが挙げられると思います。

一方、8月以降は、猛暑や台風などの影響もあり、前年を下回る月がありました。1月は、例年に比べて積雪が少なく、冬場は好調かと思われましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2月と3月で大きく失速した状況です。入館料でみますと、団体客や年間パスポートでの収入がのび、前年より30万円ほどの増となりました。

続きまして、別紙3-3、ミニSLの運行実績をご覧ください。令和元年度の乗車人数は11,231人で、前年度を736人上回りました。当館のミニSLは4月から10月までの期間、土日祝日を中心に運行しています。令和元年度は、4月・5月がゴールデンウィークの10連休に多

くの来館者があり、また連日天気が良かったことを受けて大きく伸びています。一方、6月は雨の影響等で運転できない日が4日あり、前年を割り込みました。令和元年9月15日に機関車が故障し、そのまま令和元年度の営業を終えるかたちとなりました。この故障がなければ、令和元年度はもっと伸びたのではないかと思います。

当館のミニSLは、平成元年につくられた、D5 1形蒸気機関車の5分の1スケールの蒸気機関車で、つくられた当初は、本物同様に石炭を燃やし、蒸気をつくって動かしていましたが、途中で、ガソリンエンジンでコンプレッサーを回し、蒸気のかわりに圧縮空気で動かす方式に改造されています。令和元年の故障は、エンジンの出力軸が壊れ、エンジンとコンプレッサーをセットで新しいものに取り換えました。修理の後は順調に走っています。なお、このミニSLは、令和元年度に愛称を募集しまして「にいつきてきち号」に決定しています。

それでは、次、別紙3-4 令和元年度 駅中サテライトていしゃば 入館実績表 です。

表の下※印のところをご覧ください。令和元年3月、JR新津駅東口にありましたびゅうプラザが閉鎖され、その跡地を活用できないかと観光協会や秋葉区に相談がありました。秋葉区産業振興課がそこを観光案内所として開設することになりまして、7月20日（土）からAkiha観光案内所「あ！キハ」としてオープンしました。7月27日は、故障とその修理でお休みしていた「SLばんえつ物語」が復帰し、運転開始20周年と合わせた出発式と駅ナカで飲食が楽しめる「ぷらっとホームBar」が開催された日でした。当館のサテライト施設である「ていしゃば」は、7月いっぱいまで、新津駅東口の階段下でやっていましたが、8月1日から、このAkiha観光案内所「あ！キハ」の中に入って、いっしょになって活動しています。この実績表の7月の部分は「あ！キハ」に合流する前のものです。

10月が前年に比べて大きく減っていますが、これは10月12日に予定していた「にいつまると鉄道フェスタ」が台風19号の接近を受けて、ほぼ中止に近い状況となったため、通常どおり実施した前年に比べて減ったものです。3月の減は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けての減です。

続きまして、別紙4 令和元年度 新津鉄道資料館主催事業報告です。件数がいっぱいありますので、主なものを説明し、逐一の読み上げは省略させていただきます。

12番のサンクスフェアです。令和元年度は7月13日・14日の2日間で開催し、初日土曜日は約2,000人、2日目日曜日は約3,000人からご来場いただきました。

次に、サンクスフェアと同時スタートの13番・特別展示「鉄道で旅する新潟 ～鉄道旅行と観光列車～」です。今年度、新潟・庄内地区でJRのデスティネーションキャンペーンが開催され、これに向けて新たに観光列車が造られたことに絡めて開催しました。またこれに関連しまして、22番の特別展記念講演会「新潟支社の乗って楽しい列車の紹介」を開催しました。

19番、23番、33番の新津鉄道資料館出張講座は、JR東日本との連携事業のひとつで、「SLばんえつ物語」の車内で、当館学芸員が解説をするというものです。3回で往路と復路の計6回、269人の参加がありました。

26番、新幹線運転席特別公開は、10月12日のにいつまると鉄道フェスタで、多くの鉄道愛好家の皆さんが新津を訪れることから、それに合わせて、ふだんを同時に公開することがないE4系新幹線と200系新幹線の運転席を同時に公開しました。先にご説明したように、この日は台風19号接近のため、ほかの鉄道関連イベントで中止や繰り上げ終了されたもの

が多かったため、来館者数としては、例年より少なくなりました。

27 番の鉄道講演会は、同じ 10 月 12 日に開催したものです。元 JR 本社で車両運用を担当されていた大熊孝夫様から、上野発の在来線特急を語るという題で、ご講演をいただきました。

年が明け、イベントとしては、38 番の鉄道模型走行会、39 番の新収蔵品展が最終となり、3 月に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大があったことから、新潟大学鉄道研究部によるトイトレイン走行会や空想鉄道旅行プレゼンテーション会議は中止としました。

以上、令和元年度事業報告でした。

■ 岩野学芸員

引き続き別紙 5 をご覧ください。令和元年度のアンケート結果報告です。アンケートは 2 か所です。とっておりまして、令和元年度の回答数は 835 件で、これを入力して分析したものが別紙 5 の一連のグラフです。

まず入館者数ですが、見ていただくとわかるように、1 月、2 月ときて普通は 3 月で増えるのですが、新型コロナウイルスの関係で下がっているのがこの年度の特徴です。その他、回答率や世代別回答者数の構成は例年と変わりありません。

1 枚めくっていただいて、来館同行者数や来館区分などは例年と変わらずで、家族での利用が多い、そして 2～4 人の小集団で来館される方が多いという傾向になっています。きっかけに関してはホームページ SNS などを含む web が増えてきています。この項目はもう少し細分化した方がよいとも考えています。

3 ページ、住所区分のところ、実際の感じでは市内の方が多いようにも感じますが、アンケートに回答していただいている中では県外からの方が半数弱となっています。住所の細目、市内はどこから来ているかを見ますと、今回は突出した場所はないなかで、地元秋葉区が一番多くなっています。

4 ページの来館目的ですが、市内からと県外からとでは目的が違うというのが見てとれます。市内からですと家族サービス、県外からですと鉄道趣味と観光旅行の比率が高くなっています。

5 ページ、行ったことのある市内の博物館・美術館施設では、家族による利用が多いという傾向の現れかと思いますが、マリニピアが多く、それからここ数年の傾向としていくとびあ食花、さらにアグリパークが増えています。それから、行ったことのある鉄道博物館・資料館では、例年、鉄道博物館が断トツで多いのですが、このほか関東圏の碓井峠鉄道文化むら、全国的に有名な施設のリニア・鉄道館、京都鉄道博物館が二番手グループを形成しています。

6 ページに、この運営協議会でリクエストのあった項目として、印象に残った展示を聞いてみてはというご意見がありまして、これがその結果です。お子さん連れの影響もあるのですが、シミュレータ、実車の人気が高いのが見て取れます。それから、当館への評価をつけていただき集計したところ、高評価を多くいただいている状況となりました。

このほか記述回答についてまとめたのが別紙です。良かった点としては、子供が楽しめてよかったという意見が多くありました。傾向としては、下の※印に書きましたが、さほど期待せず来館したら、以外と充実していた。という傾向があります。

そのほか改善点としては、交通アクセス、建物が古い、バリアフリー化されていない、が

毎回出てくる改善してほしい点としてあります。愛好家の方々からは常時車両公開すべきだとか、展示車両をもって増やしてほしいというような要望が毎回出ています。そのほか展示に関する要望ということで、6年目に入りますと、展示物がマンネリ化している、前に来たときと変わっていないなど、資料館だからしょうがないところもあるのですが、徐々に入れ替えていかなければいけないのかなと、長くやることで出てきた傾向です。

アンケート回答に関する分析は以上です。

■ 金山座長

以上、事務局から令和元年度の入館者数等実績報告、各種事業報告、アンケート集計について事務局からご説明いただきました。ここまでのところで、何かご質問・ご意見がありましたらお受けしたいと思います。

よろしいですか（「はい」の声あり）。では、令和2年度事業計画がありますのでその後まとめて伺いたいと思います。では、事務局から令和2年度事業計画についてご説明をお願いします。

■ 加藤副館長

それでは資料の別紙6-1と6-2でございます。6-1は令和2年度の事業方針概要で、昨年度の当運営協議会でお示しし、皆様からご意見をいただいたもので、参考にお付けしました。

6-2も事業計画として同様にお示ししたのですが、これに沿いまして、令和2年度、特に新型コロナウイルス感染拡大の影響の状況などご説明させていただき、今後の事業実施にご意見などをいただきたいと存じます。

別紙6-2、事業として計画したものの、中止したものに取り消し線を引いています。まず、4月の行の中央部分の四角囲みの部分です。令和2年4月21日火曜日から5月10日日曜日まで、国・県などの新型コロナウイルス対応策に沿い、市文化施設等は臨時休館しました。その後、再開にあたり、多くの人がいちどきに集まるイベント等は引き続き制限するものの、博物館等静かに展示を見るものなどについては、ガイドラインを設定しそれに基づいて開館するのはOKとされました。このことから、当館としては、サンクスフェアなど非常に多くの人が集まるイベントは中止、それから、鉄道模型愛好家の皆さんによる走行会も、お客様によって密になる場面があることと、愛好家の皆さん方にとっても感染のリスクがあることなどを考え、中止としました。

また、ここには書いてありませんが、パノラマ展示室内のキッズコーナーや多目的ホールでは、お子さんがトイトレインで遊べるようにしてありましたが、不特定多数のお子さんが使用した後に随時消毒をするまで手が回らないことから、これらも中止としました。

一方、博物館の常設展などはガイドラインを設定し、感染拡大防止策をとればOKとされたことから、当館でも継続としてきました。

この春の臨時休館後から、自動音声ガイダンス装置を館内各所に設置し、入館前に体調不良者の入館ご辞退の呼びかけ、券売機の前での手指のアルコール消毒の呼びかけをしています。当初、1時間あたりの入館者数が60人を超え、館内の混雑が見られる場合は、入館制限などの措置をこととしていましたが、たまに60人を超えても、屋外展示をご覧になる方もいて、必ずしも館内が即、密になる状況ではありませんでした。しかし、念のため、ほかの観覧者と十分間隔をあけてご覧いただくよう、館内放送でご案内を実施しました。館内のド

アノブや階段の手すり、パノラマ展示室などを定期的に消毒しているほか、特に人が触る部分である電車運転シミュレータは、アルコール消毒液を設置し、またここにも自動音声ガイダンス装置を設置し、利用の前と後での手指の消毒を呼びかけています。

表に戻りまして、まず、A 企画展示室の列をご覧ください。

今、申しましたように、鉄道模型走行会は中止としました。またトイトレインレイアウトも、夏の期間は中止としました。

次に9月の特別展「新潟の特急・急行」です。

常設展は継続となったことから、特別展についても、実施の方向で準備し、実施しました。今年は新潟を走った特急や急行について紹介しました。特に在来線特急が華やかであったのは、特急「とき」や急行「佐渡」が走っていたところで、今の年代で言いますと40代後半から～60代の方にとっては懐かしいものと思います。GoTo トラベルが7月末からはじまり、各方面で感染防止のための規制が緩和されはじめたこともあってか、9月からは当館としては、多くのお客様が来館されるようになりました。特別展期間中の来館者数でいうと、サンクスフェアがあった令和元年度 17,004 人には及ばないものの、8,086 人と健闘したものと思います。

次に、11月の鉄道模型走行会です。9月から10月まで開催した特別展の中で、新潟を走った特急・急行を鉄道模型で再現するコーナーを設けました。来館された方々が模型に手を触れぬよう、ガラス窓のついた壁で来館者スペースと仕切ったのですが、特別展終了後、この壁を配置変更して、鉄道模型走行会に使えるようにしました。これにより、来館者と鉄道模型を走らせる愛好家の間を仕切ることができました。こうした環境が整ったことで11月3日の鉄道模型走行会から再開しました。ちょうどこの日は、文化の日による無料開館日で、模型走行会は1日限りでしたが945人の来館者があり、今年一番の入りとなりました。

この後、11月の三連休にも鉄道模型走行会を実施しますが、その後12月からのトイトレインレイアウトのところに、今年度前半、実施できなかった鉄道模型走行会を愛好家の皆様と調整しながら実施したいと考えています。

なお、当初企画展示室で予定していたトイトレインレイアウトは、引き続き中止としているパノラマ展示室キッズコーナーのトイトレインにかえて、キッズコーナーでの設置に変える予定です。これは、キッズコーナーでお子さんに自由にトイトレインで遊ばせることは、依然リスクが高く、実施は難しいと考えるのと、トイトレインレイアウトを企画展示室に設置すると今年前半から振り替える鉄道模型走行会の度に撤収し、また設置する必要が出てくることから、閉鎖しているキッズコーナーのスペースを活用して設置したいと考えています。

次にB 多目的スペースです。

4月「蔵出し鉄道パネル」をご覧ください。この列は、常設展示と同様に、特に感染拡大に影響を及ぼすものではないとの考えから例年どおり、予定どおりに実施しています。

10月からの鉄×フォトギャラリーは広く全国からテーマに沿った写真を募集して、展示しているものです。ここはスケジュールどおりの予定ですが、3月の空想鉄道旅行プレゼンテーションにつきましては、昨年度3月に予定していたものが新型コロナウイルスの関係でできなかったことから、1年送っての開催となります。

C ミニ SL については、今まで 1 回の運転で 5 人乗りの客車 4 両をけん引し、20 人定員でしたが、ソーシャルディスタンスを確保するために、1 両 1 家族とし、ほかの家族つまりグループとは間を 1 両を空けて座っていただき、運転しました。

D その他のイベントです。

実物車両の公開は、令和元年度の実績でご説明したように、E4 系新幹線の運転席が大変人気であったのですが、新幹線車両は窓が開かず、また現役の車両と違い、本来の空調装置は死んでいる状態で換気ができず、いわゆる三密にあたることから中止としました。また新幹線以外の車両についても、窓が開かないものや、窓が開いても室内が狭いものが多いことから、当初公開中止としました。

実物車両の公開のうち、SL C57 については、運転席は常時外気に開放されていること、ほかの車両は車両公開時しか中に入れないようになっているのに対し、SL は前から常時中に入れるようにしてきたことから、公開し続けました。ここにも自動音声ガイダンス装置をおき、密にならないよう、また順にご覧いただくよう呼びかけています。そして、5 月後半から、実物車両のうち、客室の窓が開けられる 115 系近郊型電車の客室のみ公開することとしました。

さらに、10 月からは、新幹線ほどではありませんが、運転席の窓が開けられる 485 系特急形電車の運転席を事前申込制として公開しました。新型コロナウイルスの感染拡大以前では、運転席を見る順番を客席に座って待っていただいていたのですが、この客席で待つ時間が、三接になることから中止していました。見学時刻を事前に決めて申込とすることで、見学するまでの待ち時間をなくし、三密を回避しました。見学は 1 組につき原則 3 人まで、ご家族の場合はもう少し許容しました。1 組あたり 5 分程度の見学時間とし、組が入れ替わるときに消毒を実施しました。10 月 25 日の公開のときには、前日までに予定枠が埋まり、ちょうど良いくらいでした。11 月 22 日・日曜日が今年最後の実車公開となりますが、10 月と同様に事前予約制で実施します。

次に、上に戻りまして、03 調査・研究です。

瀬古龍男氏資料調査としまして、毎年続けておりまして、その調査状況確認打ち合わせを 3 回実施しました。鉄道友の会新潟支部の中村支部長にご協力いただき、調査した資料の確認等を行いました。その成果の一部は今年度の特別展「新潟の特急・急行」に生かされています。

次に、上に戻りまして、04 教育・普及のところですが、当館にご協力いただいているボランティアの皆様には、今年度当初から、感染拡大防止のため、活動をご遠慮いただいております。夏以降、いろいろ自粛が緩和され、来館者数も増えてきたことから、10 月から活動可能な方にはお願いしており、土・日曜日の電車運転シミュレータの案内などをしていただいております。

その次、ばんえつ物語号出張講座、JR 新潟支社さんから、感染拡大防止のため、ばんえつ物語の車内でのイベント等の中止のお話があり、今年度は中止しています。

9月の新津第三小学校校外学習は、例年、当館に見学に来ていただいていたのですが、今年は特に「なぜ新津は鉄道のまちといわれるのか」について「なぜ」の部分掘り下げたいという学校側から要望があったことから、今後の学校等への学習支援のテストケースも兼ねて、プレゼンテーションソフトを使つての説明を聞いていただいたうえで、館内の見学をしていただきました。大変わかりやすかったとの感想をいただいております。全ての学校に対してこのような対応をするのは難しい面もありますが、特に地元秋葉区内の学校や少人数でじっくりとした郊外学習を予定している学校については、可能な範囲で対応していけたらと考えています。

このほか、今年は、県内の小学校が例年のような県外への修学旅行に行けなくなったためか、中越。上越地方の小学校を中心に、修学旅行で当館に立ち寄る例が見られます。こうした学校に対して、今年度は算数・国語などに関連して、館内に展示してあるものからクイズのペーパーを作成し、希望する学校には活用していただいております。

羽越本線高速化シンポジウムは、新潟、山形、秋田の3県の団体および県が、国をはじめとする関係者へ羽越本線の複線化・高速化及び新幹線整備の早期実現を訴えるために、毎年開催しているものですが、今回、羽越本線の高速化の歴史について当館に意見発表の依頼があったものです。岩野学芸員が歴史の面からお話する予定です。

その他、今年度は、今後、ボランティア講座を予定しています。

05 その他です。サンクスフェアが中止となり、四国鉄道文化館との連携として、同フェアへの向こうからの参加は中止しています。にいつ鉄道まるごと鉄道フェスタも中止となりました。

にいつ鉄道商店街（鉄ぶら散歩抽選会）は、JR 新津駅、にいつ鉄道商店街、新津観光協会、区役所などが、コロナ禍ではあるものの、まちなかのにぎわいをつくろうと実施しているものです。参加の商店で買い物500円につき、一枚抽選補助券がもらえ、異なる店舗の抽選券3枚で、あ！キハ観光案内所でガラポン抽選ができるものです。当館も、一般での観覧者に対し、抽選補助券を1枚渡すという対応をしています。またこれと合わせまして、10月1日から11月30日までの期間中、えちごワンデーパス、同ツーデーパスを持参された人は、観覧料を団体料金に割引く対応をしています。

令和2年度の事業に関しては、以上のような状況、また予定としています。

次に、今年度の来館者の状況ですが、別紙7をご覧ください。

月別に前年比で見ますと、4月が5.8%、5月が9.5%、6月が45%のようになっておりまして、9月が110%と前年より多い状況となっています。ここには載っておりませんが、10月末現在での入館者数は21,104人、昨年同時期と比較して45%ほどとなっております。10月は前年比100%を割ってしまいました。これは昨年、即礼正殿の儀で祝日があり、同日が無料公開日となったことから多くのお客様からお越しいただきましたが、今年はそれがいないため200人ほど下回ったというところです。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けつつも、令和2年度の事業については、以上のとおりです。

■ 金山座長

今年の事業については、予定どおりにできなかった面があるとのことで、来館者の安全を守るためにはやむを得ないと思います。収蔵資料の調査研究などはきちっとされているようなので、これは問題ないと思います。

令和2年度について事務局から報告があった事項について、皆様から質問やご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

はい、では野本委員どうぞ。

■ 野本委員

はい。まず、資料5の6ページ、行ったことのある鉄道博物館・資料館の項目に、糸魚川のジオパルを入れていただきたいと思います。先般、にいつ鉄道商店街でジオパルへ出展してきました。今年2回行きましたが、トワイライトエクスプレスのモックアップを新たに展示に加えるなど充実してきていますので、皆さんもご覧になってみてください。

それと、先般、秋葉区文化会館で鉄道をテーマにしたミュージカル「走れ！ロコモーション」が上演されたのを観て感動しました。プレ公演も見ましたが、見ごたえのあるミュージカルでした。準備段階から旧鉄道OBの方もいろいろと指導されていました。この公演で使ったものを商店街で借りて展示できないか考えています。今後、公演があるかどうかはわかりませんが機会がありましたらご覧になると良いと思います。

それから私のところに、鉄道資料館の鉄道模型参加団体の方から意見がありました。走行会の際はバランス良く声掛け・配分をしていただきたいと思います。

■ 金山座長

ありがとうございます。ミュージカルは大変好評だったそうで、次回が楽しみにしたいと思います。ほかにありますか。はい、樋浦委員お願いします。

■ 樋浦委員

アンケートの来館目的（県外）のところで、鉄道旅行とはどのようなものを指すのでしょうか。鉄道趣味とはどう違うのでしょうか。

■ 岩野学芸員

鉄道旅行は、鉄道愛好家の趣味の一つのスタイルになっているもので、広い意味でいえば鉄道趣味なのかもしれませんが、例えば当館へいらっしゃるのに、鉄道旅行は普通列車を乗り継いだり、青春18きっぷなどで途中下車して立寄られたりするのを指すことから、それで1項目を立てました。市内からでは鉄道旅行はありませんが、県外の方を見ますと鉄道旅行で来られる方が12%いらっしゃいます。

■ 金山座長

ありがとうございます。よろしいですか。

■ 樋浦委員

はい。

■ 金山座長

来館目的の項目は経年的には同じ項目なのでしょうか。

■ 岩野学芸員

はい。ただ、先ほどのきっかけの「web」などについては細分化したほうがよいとも考えています。

■ 金山座長

比較できるようにしておくのが大事ですね。いかがでしょうか。はい、澤野委員お願いします。

■ 澤野委員

今後収蔵品の一覧などをつくり、公開する予定はあるのでしょうか。他館ではあるところもあります。

■ 金山座長

これは収蔵目録になりますかね。いかがですか。

■ 岩野学芸員

目標として収蔵目録をきちんと整備したかたちで公開したいというのがあります。このコロナ禍で館へ行けないのであればインターネット越しに資料を見たいというニーズが以前より強まっているのもあり、澤野委員のおっしゃるとおりです。

一方で、当館の収蔵資料の点数は膨大であり、かろうじて網をかけるくらいのリストはあるのですが、それをインターネットで公開し検索できるような段階には至っていません。瀬古先生の写真については、リスト化できている状況ですが、それを当館の資料全体に広げるといって長期目標には入っているけれど、すぐに進められるような状況にはなっていません。

■ 金山座長

そろそろ収蔵目録づくりについては計画的にされた方がいいですね。イベント関係とか展示とかはここは充実していて、入館者数も集めていますが、澤野委員がおっしゃるように、収蔵目録は博物館にとっての財産目録です。これをきちんとつくっていくことは博物館としては必要なことから、ぜひ前向きに検討してください。よろしくお願いいたします。

はい、奥原委員、お願いします。

■ 奥原委員

入館者数が戻ってきていてすごいなと思っています。私共のところは、今年2月29日から6月10日まで休館になり、その後再開はしましたが、今までのように自由に来ていただくことができず、コンビニで扱ってもらう前売券制にし、1日の販売数に上限を設けて密にならないようにしています。体験展示については、お子様に人気があるようなものは密になることが避けられないために止めている状況です。入館者数が激減しており、通年で20%台、9月・10月でいうと少し戻して40%台にはなっていますが、かなり落ち込んできている状況です。通常インバウンドや家族連れが多いのですが、今は外国の方はほぼゼロの状況です。

そうした中、休館している間、facebookなどを使ってできるだけ発信を増やすようにしました。今年春、常磐線再開にあわせて常磐線展を企画展でやる予定で準備していましたが、

それができなくなっていました。でも、「何もしないでいると、忘れ去られてしまう」という危機感があったものですから、展示内容を発信するということをかなり頻度を上げてやりました。これを読んでコメントしてくれる方「いいね!」をつけてくれる方がかなり多くいました。6月10日に開館再開してみたところ、絶対数は多くはないですが、企画展を見たいと来館される方が多くいらっしゃいました。また当館のミュージアムショップではお土産が中心なのですが、今回初めて図録の売上数がトップとなりました。出かけられないという状況下で知的欲求を求めている方がかなりいらしたのではないかと思います。

企画展をかなり熱心に見ていらっしゃる方も多いので、感染拡大防止のために中止しているガイドツアーにかえて展示解説を8月から開催したところ、毎回多くの方が参加していただいている状況となっています。じかに人と接する機会が減り、マンツーマンで話を聞きたいというのものもあるかもしれませんが、どういう状況であっても、こちらがきちんと準備をして中身のともなう企画展を開催すれば、お客様に支持していただけることを実感しました。

さきほど入館者数とのお話があり、中身はどうなのかなと思ったのですが、企画展等にどのような層の方が来ていたのかお尋ねしてみたいと思います。

■ 高山館長

鉄道博物館さんは、当館とは規模が大きく違い、いろいろなシステムをお持ちのなかでコロナ対策の犠牲となったところかと思いますが、当館も実物車両公開、鉄道模型走行会などができなくなる状況となりました。来館者数が減ったなかでも、車両を見たいというリピーターがそれなりに来ていただけたのがあって、地元の家族連れなどを中心にコロナウイルスのため他に行く場所がないということもあってか、制約が緩和されてきたところでそれが数字に出てきたのではないかと感じています。

■ 金山座長

よろしいですか。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。はい、安藤委員どうぞ。

■ 安藤委員

資料5の2ページの来館のきっかけで、webでコンテンツの発信をされているというお話をお聞きしましたが、私の勤務先では、webはホームページよりも「facebookやInstagramを見てきました」という人が多くなっています。勤務先は日本酒をつくる会社で一般的な例とずれるかもしれませんが、お客様の30代まではInstagramをやっている人が多くて、40代から60代まではfacebookをやっている方の割合が多いようです。Instagramを使っている人はハッシュタグを活用していて、以前は旅行雑誌やカーナビの情報を見て来たというのが多かったのですが、今はハッシュタグやGoogleマップを見て来る人が多くなっています。今後、Instagramを使っている若年層が結婚・出産という時期を迎えることを考えると、webだけでなく、SNSもfacebook、Twitter、Instagramなどを分けてデータを集めたら、効果的な分析ができるのではないかと思います。

■ 岩野学芸員

FacebookとTwitterは長いことやっているのですが、「なるべく単なる面白ツイートはしないようにしよう」という方針のもと、淡々と広報を発信しています。確かにInstagramは

やっていませんし、ハッシュタグをつけて戦略的に発信するということも今まではしていません。アンケートの項目を含めて研究してみたいと思います。ありがとうございました。

■ 金山座長

若い人の意見は本当に貴重ですから、ぜひ反映させてください。また若い人が増えるかもしれません。

さて時間も超過してしまいましたが、盛沢山だったのでやむを得ないことと思います。最後に私からも一言言わせてください。

アンケートの記述回答のところで「やっぱりだな」と思いました。施設に対する要望というところで、すごく人気があるのだけれど、立地が悪いとか、飲食のスペースがないとか、建物が薄暗いとか、施設も古いといったところが、毎回出てきていますよね。同じようなことは、リニューアルの検討委員会でも十分わかっていた話で、当時はとにかくリニューアルを実施しスタートさせることを優先させました。未来永劫このまま使い続けていくとは考えていなくて、当時、市もそういう考え方でスタートしました。それからだいぶ年月も経っているわけですので、市は博物館の前向きな発展を考えていただければと思います。

だいたい博物館はオープンしたりリニューアルしたりすると最初の年は入館者数が多いのですが、翌年から右肩下がりが入館者が減っていくのが常です。ところが、新津鉄道資料館は来館者を増やして維持している、しかもこのコロナウイルスの影響がある状況でも来館者数が戻ってきているのは、先ほども言いましたように、市民にとって必要な施設なのだと思います。そういうことを皆さんと共有させていただき、今後も発展的に考えていただきたいというのが、私からの市への要望ということですのでよろしくお願いいたします。

そのほか、事務局のほうで補足など何かありますか。なければ進行を事務局へお返しします。

■ 高山館長

金山先生、ありがとうございました。

そして委員の皆様もご意見、アドバイス、ご提案などありがとうございました。これらを今後の運営の参考にさせていただきまして、さらなる高みを目指してまいりたいと存じます。まだまだ施設の不備な面などもお話でしたが、今の施設でもできることもあろうかと思えますので、来館者に喜ばれる鉄道資料館を目指してまいります。

今回、コロナウイルスの影響もありましたが、第1回が遅くなりましたこと、お詫びいたします。第2回は来年2月か3月を予定しており、また日程調整・ご案内させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。これにて新津鉄道資料館運営協議会を終了させていただきます。